

# 「自己を見つめること」

## を重点とした道徳科の授業づくり

### 第3学年 道徳科学習指導案

1 主題名「自分らしい生き方」（内容項目：A-3 向上心・個性の伸長）

2 教材名「ひび割れ壺」（出典「とびだそう未来へ」教育出版）

#### 3 主題設定の理由

本授業を通し、自分の個性を生かして自分らしくより良く生きるためにはどのようなことが必要かを考え、実践しようとする意欲を育てたい。

主題に関わる部分で、生徒は日頃の学校生活の中で、自分の気になる部分も含めてありのままの自分を認めることができるように、まず人と比べないことを大切にすることを意識して生活している。しかしながら、日常生活の全てにおいて、それを実践することに難しさを感じている生徒もいる現状がある。

この教材の特性として、壺を擬人化し、自分の欠点をポジティブな視点で捉えることで、自分らしく生きることの大切さを考えることができる。さらに、題材の大元になっている絵本を活用することで、題材の世界をよりイメージできるようにする。

#### 4 本時のねらい

自分らしく生きるために大切にすべきことについて、ひび割れ壺の悩む気持ちを共感的に捉え、自分の経験と重ね合わせて考えることで道徳的实践意欲を育てる。

#### 5 本授業のポイント

- ① 生徒自身で「ひび割れ壺」の題材から対話したい内容を考えることで、生徒がより主体的に学習に取り組めるようにする。
- ② 生徒自身で考えた対話のテーマを話し合った後、教師側からより対話が深まっていくような対話のテーマを設定することで、自己の考えを深めることができるようにする。
- ③ どのような生徒の対話のテーマにも対応できるように、教師から提示する対話のテーマを複数準備したり、生徒に対して事前に自分の短所に関わるアンケートを取ったりする。

#### 6 本時の展開

	学習活動 ○主な発問 ・予想される児童生徒の発言	留意点や評価の観点（☆）等
導入	1 全体の見通しをもつ  2 「絵本：ひび割れ壺」の範読を聞く	・本時の学習をどのような流れで進めていくか生徒と共有する。 ・「この題材からどのようなことをみんなで考えたいのか」という視点をもちながら聞いてほしいことを事前に伝える。 ・椅子でサークルを作った状態で範読する。

展 開	<p><b>3 グループごとに対話のテーマを話し合う</b></p> <p>○ どのようなテーマで話し合いたいですか。 [予想されるテーマの例]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・欠点をどのように生かしていけたらよいか？</li> <li>・個性とは何か？</li> <li>・自分らしく生きるためにはどんなことが大切か？</li> </ul> <p><b>4 考えたテーマを全体交流する</b></p> <p>○ それぞれのグループが考えたテーマに共通しているのは、どのような視点だろうか。</p> <p><b>5 決定したテーマで考えを伝え合う</b></p> <p>○ 短所をプラスに捉えるためには、どうしたらよいか。 [対話のポイント]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の話を「きちんと聞く」 →途中で話を遮ったり反論したりしない</li> <li>・相手の意見を尊重する。否定は「ダメゼッタイ」 →モヤモヤした時は疑問点として質問する</li> <li>・全員が当事者として対話に加わる</li> </ul> <p>[問いかけの例]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ひび割れ壺」が自分のよさに気付くきっかけは？</li> <li>・それは、具体的にどういうことだろう。</li> </ul> <p><b>6 全体交流</b></p> <p>○ グループで話し合った内容を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・短所の見方を変える</li> <li>・発想を転換し、短所をポジティブに捉える</li> <li>・短所を生かせる場を考える</li> <li>・長所と短所は表裏一体である</li> <li>・他人が短所を長所に変えてくれることもある</li> <li>・互いに協力したり支え合ったりして、補い合う</li> </ul> <p><b>7 グループで短所をリフレーミングする</b></p> <p>○ 「リフレーミングを通して、学級のメンバーの短所の見方を変えてみよう」 1人1台端末に配付された短所について、共同編集でグループごとにリフレーミングする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・考えすぎてしまう→真剣に考えている、慎重</li> <li>・緊張する→責任感が強い</li> <li>・飽きっぽい→好奇心がある</li> <li>・気分の浮き沈みが激しい→感情が豊か、素直</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の思いをもとにテーマを設定する。</li> <li>・各グループの話合いに加わりながら、例を示す。</li> <li>・各グループが考えたテーマに共通する視点を確認し、話し合うテーマを設定する。</li> <li>・対話のポイントを共有する。 ☆仲間との対話を通して、「自分らしさ」を見つめ直し、自分らしく生きることについて考えを深めている。</li> <li>・対話が深まるような問いかけをする。</li> <li>・話し合った内容について具体例を示して発表させる。</li> <li>・水汲みの存在に注目させる。</li> <li>・自分の短所を認めることは簡単なことではないことを確認する。</li> <li>・対話の内容を受けて教師側から対話のテーマを提示する。</li> <li>・事前に匿名で集約したアンケートを活用する。</li> <li>・錯視の絵 (<a href="http://commons.wikimedia.org/wiki/File:Duck-Rabbit_illusion.jpg">http://commons.wikimedia.org/wiki/File:Duck-Rabbit_illusion.jpg</a>) を提示し、長所と短所は場面</li> </ul>
--------	--	---

	<p>[テーマ設定例]</p> <p>① どうして自分の気になる部分って認めたくないの ろう？</p> <p>② ありのままの自分を認めるために具体的にどんな取 り組みができる？</p> <p>③ 個性とは何かみんなで紐解こう。</p> <p><b>8 全体交流</b></p> <p>○ 自分が短所だと感じていた点はどのように捉え直す ことができるか、確認しよう。 1人1台端末で他のグループのリフレーミングを閲覧 する。</p>	<p>や見方、枠組によって変わる ことを確認する。</p> <p>・ 5の対話の内容に応じて、教 師側から提示するテーマを変 更する。</p> <p>・ 自分が短所だと感じていた部 分を新たな視点で捉え直すこ とができることを確認する。</p>
<p>終 末</p>	<p><b>9 振り返り</b></p> <p>○ 今日の授業で行った短所をプラスに捉えること、見 方や枠組みを変えて短所を捉え直すことを通して、考 えたこと、感じたことを自由に湧いてくるままに書き 出そう。</p> <p>1人1台端末を使って個人で活動を振り返る。</p> <p>[振り返りの例]</p> <p>・ 自分は悪い方に捉えやすいという、自分の捉え方が 理解できた。</p> <p>・ 自分の短所や欠点をプラスに考えて行動に移せばよい ということが分かった。</p> <p>・ 自分の短所を長所に転換することは難しいけれど、周 りの人が気付いてあげたり、気付くきっかけをつくっ てあげたりするとよいと思う。</p>	<p>・ 共同閲覧モードにし、振り返 りの内容を交流することで、 自己の考えを深める。</p> <p>☆自分らしく生きるために大切 にすべきことについて、自ら の経験と重ねて考えを深めて いる。</p>